

対照研究のたのしみ

—日本語・中国語・韓国語—

講師: 井上 優 国立国語研究所・言語対照研究系・教授

Speaker: Professor Masaru Inoue

National Institute for Japanese Language and Linguistics

日時: 2010年9月26日(日) 午後 1:30~3:30

Date: Sunday, September 26, 2010; 1:30-3:30 pm

使用言語: 日本語

Language: Japanese

場所: 川内北キャンパス・国際文化研究科棟101

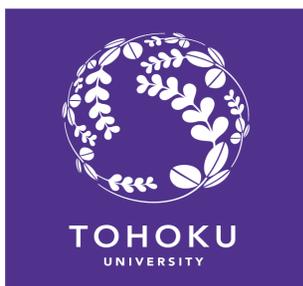
Venue: Kawauchi-kita Campus, Tohoku University

来聴歓迎

Admission Free

要旨: 日本語研究者の仕事は、日本語について深い分析をおこなうとともに、それにより養われた言語学的センスを活用して外国語の現象について考えることである。本講演では、そのような考えにもとづいておこなってきた日本語、中国語、韓国語の対照研究の例を示すとともに、そこから見えてくる日本語、中国語、韓国語の文法のおもしろさについて述べる。本講演では、特に(1)「スル」的表現と「ナル」的表現、(2)名詞的表現と動詞的表現という2点に焦点をあてて、日本語、中国語、韓国語の類似と相違の背景にあることについて考える。

主な研究実績: 井上優・黄麗華(1996)「日本語と中国語の真偽疑問文」(『国語学』184, 国語学会)。井上優・生越直樹・木村英樹(2002)「テンス・アスペクトの比較対照—日本語・朝鮮語・中国語—」(『シリーズ言語科学4 対照言語学』、東京大学出版会)。井上優(2006)「モダリティ」(『シリーズ方言学2 方言の文法』、岩波書店)。



問い合わせ先 / Send inquiries to:

東北大学高等教育開発推進センター日本語研修室

E-mail: uehara@he.tohoku.ac.jp